

ゆめクラブ開成だより

開成町老人クラブ連合会

No.49



秋の大収穫祭



令和7年10月号

私の趣味を紹介します

金岡クラブ 渡辺 哲夫

ゆめクラブ開成の皆さん初めまして、金岡クラブの渡辺哲夫と申します。

この度趣味について投稿依頼があり、少し続けている趣味について書かせて頂きます。

今も続けているのは二つありまして、一つ目は日本人の心の故郷民謡です(唄と三味線を学んでいます)。民謡を始めるきっかけは町の文化祭で米若会の発表を観て、元々民謡は好きだったので松田にある米若会(今は若乃会)の門をたたきました。

唄だけの入会のつもりでしたが、尺八か三味線の楽器を勧められ尺八を吹かせて貰いましたが全く音が出なかったので、三味線を選び2000年より始める事と成り、今尚音色の探究を続けています。

最近では酒田神社の祭典やゆめクラブ開成の会に佐藤会長ファミリーと共に「シュガー&テツ」としておじゃまをし、唄と演奏で皆さんと共に楽しませて頂いています。

二つ目の趣味は民謡と比べると期間は短いです、仏像彫刻を続けています。瀬戸屋敷でも展示会をされた山北に教室があるウッドボイス(蘭二郎)先生に教えを頂き七年位続けています。

鋸とノミで荒彫りをして彫刻刀を用い造形する誰でも学び易い教室です。基本の彫り方を学びながら五体の課題作品をクリア、その後自分の彫りたい作品を選び挑戦しています。まだまだ理想には程遠いですが近づける様に頑張っています。

どちらの趣味も気持ちをリセット出来るので、これからもゆっくりと続けていこうと思います。



渡辺さんが彫った仏像

実践中

外出して

フレイル予防！

体を動かし

おしゃべりを楽しむ

中家村福寿会の更なる活性化に向けて

開成町老人クラブ連合会長

小川 周作(中家村福寿会)

1. 中家村福寿会の歴史

昭和35年4月1日に中家村・下島地区の老人会として「福寿会」が結成されました。その後、昭和56年4月1日にそれぞれの地域に独立した中家村福寿会、下島福寿会として編成替えを行い現在に至っています。

昭和56年以降の歴代会長は現職の私小川迄17代に渡り営々と受け継がれてまいりました。過去にはゲートボールの関東大会で好成績を収めたこともあり、当時の写真を見ると活動に多くの方々が参加されていて、さぞ賑やかであったと推測されます。



2. 会員増加と自治会イベントへの協力

令和元年より、毎週水曜日は高齢者の居場所づくりの日と位置づけ、カーレットサロン・にこにこサロンを実施してきました。この成果として令和7年4月時点で65名の会員数となっています。

カーレットサロンには会員以外の女性の方々にも自由に参加して頂くことで、友達が増えた、楽しいことなどが認知され、「老人会」に多くの女性会員の加入が達成されました。

現在、月4回のカーレットサロン、麻雀、にこにこサロン、毎四半期の誕生会と年2回の「みどり遊園地の草取り奉仕作業」と世代間交流ラジオ体操(夏休み3ケ間)が主な活動です。

また、各種自治会イベント(夏祭り・どんど焼き)開催時の準備に協力していますが、会員の高齢化に伴い会員だけでは対応出来ない状況も生まれていますが、地域の若い方との交流により協力いただける体制になりました。



カーレットサロン



世代間交流事業

3. 高齢者としての役割、発災時の見守り確認

今後発生が想定される災害に対して、特に平日の日中の時間帯は高齢者が在宅していることが多いので、救助活動は出来ないが、危険が少ない倒壊家屋等での安否確認を担い、救助部門に状況報告して救助等に役立てる体制の確立を検討していきたい。



4. 活動経費確保

活動を活性化していく上では、多くの参加者に掛かる経費を賄っていく必要があります。会費や行政等からの補助、助成金だけで運営するには、多少の不安がありました。

このため令和6年度から福寿会の中で物品販売を行い、売上金のキックバックを活動資金に充てる取り組みを始めました。活動資金の確保には会員の皆さんに絶大なる協力を頂いております。



5. その他の課題

会の運営には、運営役員の成り手不足等の課題があり、今後の会運営が危機的状況になる可能性があります。多くの方々に加入促進を図り活動の更なる工夫と行政とタッグを組んで加入促進を図っていききたい。

夏(8月)のある一日

下島福寿会 会長 辻村 進

日頃の福寿会の活動紹介は別の機会にして、今回は下島子ども会と過ごした1日をご紹介します。お盆明けの8月19日自治会福祉部主催の「ふれあい子ども食堂」について触れて見たいと思います。

福祉部からの要請により福寿会は輪投げ、カーレットそして綿菓子で協力し楽しく過ごしたのであります。午前中は学習補助(自然と見て見ぬふり)そして昼食は福祉部手製のカレーライス、ここまでは予定通り、早々に昼食を平らげ午後は大人も子どもも思い切りお遊びの時間です。カーレットが断然の人気でした。去年も人気で今日も午前中の勉強はいまいち



元気がないなと思っていましたが、午後は別人のようになり。うまくいかないと思いつ切りくやしがり、思い通りになればニッコリ大人も子どももありません。

カーレットの待ち時間を利用して子供たちに自由に作ってもらうことにしました。まずは綿菓子の操作を説明し、見本を示します。

見ているほど簡単には出来ず、最後には大人が綿菓子作りをする事になったのであります。

暑かった夏休みも終わりに近づきややバテ気味の子ども達や今日ご協力いただいた大人達にとっても楽しく過ごせた1日となりました。

下島自治会との関わり合いでは9月には敬老会、10月にはしもじま祭りやバス旅行が予定されておりいずれの行事も福寿会員にとっても楽しみの1つとなっています。

金岡クラブ同好会紹介

金岡クラブ 会長 佐藤 孝吉

金岡クラブは、5月から事業計画に沿って活動を開始していますが、金岡クラブの活動だけでなく、他にもチャレンジしたい、もっと上手になりたいとの事で、4つの同好会が活動しています。

「ゲートボール」は、毎週月水金の9時から11時まで練習やおしゃべりを楽しんでいます。

8月の自治会夏祭りには、ゲートくぐりゲームを担当、自治会に協力しております。

「おたっしや会」は10年間ほど活動を続けています。毎月第2月曜日と祝日の月曜日に午後1時30分から午後2時30分まで、年20回前後開催。運動の量と質は各人の体調に合わせて行い、「健康維持・改善・増進」を目指しております。新年会では、懇親会の前に体操を指導して頂いています。

「パークゴルフ」は毎週水曜日に午後1時から水辺スポーツ公園や、近隣のパークゴルフ場で練習を行っています。

昨年度のゆめクラブ開成の大会では、好成績を収めております。

「カラオケ」は毎月第1と第3木曜日の午後1時から、歌やおしゃべりを楽しんでいます。年に数回は、近隣のカラオケ店に出かけ雰囲気を変えて活動しています。また、他のクラブとの交流の場にもなっており、今後も同好会と協力しながら事業を展開していきたいと思っております。



女性部活動のご紹介

開成町老人クラブ連合会 副会長
女性部長 太田 月子(第二長生会)

女性部の活動として、6月に第1回目「手芸」を開催しました。天然木を薄くスライスしたシートをハサミで切って貼っていき、可愛い花の絵柄の小箱を作りました。参加した皆さんでワイワイ楽しいひと時を過ごすことで親睦が深められた様に思います。各クラブの女性部長さんがクラブに持ち帰りサークル活動として楽しんだ所もあるようです。

女性部活動は年4回実施を計画しており、11月にパークゴルフ、12月にeスポーツを楽しむ予定です。

7月に足柄上ブロック老人クラブ連絡協議会で研修会が開催されました。会員が減少する中、これからも会の活動を継続するには、老人クラブと接点がない方に活動内容を理解してもらえる工夫が大事であるという事でした。

私自身に出来ることは小さな事ではありますが、友人などに声を掛け、会の楽しさを伝えていきたいと思っております。“そんな事から コツコツと”



単位クラブでは、随時新規
会員を募集中です。
ご興味のある方は、事務
局までご連絡ください。

発行／ゆめクラブ開成（開成町老人クラブ連合会）

＜事務局＞ 開成町社会福祉協議会
〒258-0021

神奈川県足柄上郡開成町吉田島 1043-1（開成町福祉会館内）
電話 0465-82-5222 FAX 0465-82-5928